夕刊
磐城新聞
八月三日發行
定價 一ヶ月金六拾五錢（郵稅共）
廣告料 普通欄 五號一行金六拾錢
編輯印刷兼發行人 柏木
發行所 磐城新聞合資會社
電話 五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

擔がれた話

平＝大津間道中コント

酒井孤村

七

貧しい小倉服の學生と稀代の美人と向ひ合つて話をしてゐるのだから事の如何を問はず。あつちの二階からこつちの店先きと朝からよい見物と許り人々は眺めてゐるのです『あのら學生さんは是からどちらへ入らつしやいますの』これには僕もあきれて答へる術を知りませんでした又實際何處で休まふといふ豫定もなかつたのです、何れ其の邊の安旅館へでも着いて朝飯を食はねばなりませんが其の相談はこれからの話です。切角撒いて安心したと思たのに又見付かつたのです、所もあらうに往來の眞中ですから亂棒に怒鳴りつけてやる譯にもならず全く困つて仕舞ひました。『そうだなあ僕等は大至急の用事があつて夜通しで來たのだが用さへ濟めば東京へ往くんだ』今度こそは出鱈目を言つてやりました。『あらさう、東京へいらつしやるのまあ嬉れしいわ、何時の汽車でいらつしやいますの』『さあ用事さへ濟めば直ぐでも往く積りだ、時間は未定だ』『其れでは妾し關本の驛でお待ち致しますわ、妾し東京まで伴さして頂〈わ〉』物の言ひ方が次第に從弟同志とでも言ひたい位に變つて來た、僕は可笑しさを堪へ乍ら『うん待つて呉れ直ぐ行くよ』二人は顏見合せてベロリ舌を出した『では後程』女は妖艶な笑を殘して去りました『今度は巧く馬鹿にしたな』『あれは氣狂かしら』『さうでないよ』『では一體何んだらう』『では泥棒か』『逆さに振つたつてろくな埃りも落ちない書生を狙つて何になる』『泥棒でないとすると正体は何んだらう、昨夜と今朝のあの變化りかたの相違は』『不思議だな』『あれこそ謎の女だ』世故に馴れぬ僕等學生が幾ら考へたつて女の素情など判る道理はありませんでした。兎に角追拂つて精々したので二人は細長い露路を抜けて海岸へ出て心行く計り潮の香にひたりつゝ今日のプランを立てゝるのでありました

唐貝山の登り口から南へ數町八幡園から二、三丁計りの波打際に新築で料理屋發業の碧水館と言ふ旅館がありました、二人が其所へ草鞋をぬいたのは午前七時頃でした

岩間海岸にて

魅良環

星のかすほど　ある中に
たつた一人の　その男
『ヴォルガの船唄』に　あらね共
チイツと見つむる　黒き顏
あゝこの高さ　このひろさ
天を仰いで　やるせなく
ハイネでなけど　羽欲しや
ソツト、うかぶふ　霞き

磐梯山行

新津亭

○朝ぎりの降りゐ沈める山の間の湖は寂けく波たててをり
○湖尻の堰の太杭苔づきて搖らぎ映らふ水照りの清しさ
○木洩れ陽の斑に照るところ山路の圓葉のみどり透きて鮮やか
○ゾロを往く水照りうつらふ岩がねに宜むら青の風に搖れつつ
○時の間を風吹き落ちて山あひの深き靜寂は耳に徹へつ

四疊半の童貞（四）

鬼河原狂一

童貞に對し、幾分の興味を感じてゐた私は、全く落膽してしまつた。そして、の事件は、終末をつげたのである

夜外出しないことは、よい習慣であるが、それが極端だと、かへつてとやかく噂されるものである。童貞は夜は、決して外出したことがない。勤め先から歸つてお湯に入ると自分の部屋に入つたきり、小說を讀むと床に入つて寢てしまう

週に二回宛横町に夜店が出る、童貞を除いた若人達の一行は、買物をするのではなければ見るのでもない只美人の顏を見たさに、夜店見物に出かける。下宿總動員の夜店の晩に、どんなにさそつても彼れ童貞は同行したことがなかつた。しかし一行が歸つて來ると、時間なんかにはをかまいなしで、床の中から飛び出して來て何くれとなく夜店の話を聞く。私は特に童貞の氣持を興奮させるやうに大げさに見て來た夜店の樣子を話してやると、子供がおとぎ噺を聞くやうに、我を忘れて、聞き入つてゐる。根もなければ葉もない事柄を、大げさに話すのだから時々化の皮がはげることがある。だがかへつて、こうしたことが童貞の興味を增す結果となるのである

市役所の下水人夫の山中は、川口町から松島遊廓が彼の受持ちだつた

日曜日の午後、道路にある下水道の穴から、山中が出やうと頭を出した時、全く意外な光景を見せつけられた。山中の話では女郎屋の引子に、袖を引つぱられてゐたといふのである。こゝに到つて私の童貞に對する氣持は、一變しかけたのだが、さう簡單にはかたづけられなかつた

□

山の小川に流すには
あまりに重き胸の荷よ
浪に心があるなれば
さらつておくれ　この重荷

句帳から

山温泉宿布目正しき冷豆腐　南綺
夏足袋の埃拂ふてあがりけり　月泉
手を洗ふバケツに浮くや柳わた
飛行機に手をかざしを裸人
浴室へつゞく廊下や萩若葉
牛尾菜もろ薄き小鉢の呉須の色

8月4日

△英使節駿府に家康と會見（慶長一八）△長番外艦と下關に戰ふ（元治元）△神宮プールに第二回日米水上競技△今明平の七夕祭（昭和一〇）

小說　高橋是清（82）

松浦泉三郎作　佐々木今朝吾畫

轉落（二）

桝吉は裾を亂して長火鉢の前へ座ると、小女の運んで呉れた水を一氣に湯呑みから乾して、ほつれ髮を邪魔さうに掻き上げながら、『お母さんも、少しは我慢してお呉んなさればいゝのに……』

と、呟くやうに言つた

およしは聞き咎めて

『お君、そりやあ何の事だい？』

桝吉は火鉢の灰をならして

『いつもの事……』

火箸をトンと立てながら目を反して言つた。およしは皮肉たつぷりの口吻で、

『お二階に長逗留のお客さんの事かい？』

『お座敷で、何だか厭な心持ちがしたから、歸つて來て、聞く氣もなしに、表で聞いてゐると……』

『聞いてゐると？』

『あんなに言つて呉れなくても何とか言ひようが…』

『ないね、ござんせんよ…！』

およしはキッパリ言切つた

桝吉は暫らく默つてゐたが、

『然しお母さん！』と、膝を立て直して『こんな事言つちや濟みませんけど、あの人一人を置いたところで、お母さんやお父さんに御不自由は、かけてゐない心算でゐるんですけど……』

『飛んでもない…！』

およしは冷笑して、

『御不自由どころか、勿體ないと思つてゐる位なんだから、男の一人や二人引込んで來て置く事位の事で、そりやもう、文句なんざぁ言ひませんとも、東屋の桝吉は日本一の賣れッ妓、あたし達はその買殺し、不服を言つた日には口が出るからね』

『お母さん！』

『けど、あたしあお前さんの身を思やこそ、憎まれ口の一つも利きたくなるのさ。さうやつてお前さんが毎日働いてゐるのに、さう言つちや何だけど、あのお客さんが今日までゐて、何一ツして呉れた事があると言ふのさ』

『そんな事、させちや濟まない御恩のある……』

それを途中で遮つて

『そればかりぢやない。引く手數多のお客さんは、九分九厘、お前さんに氣があつて、招んで呉れるものとまあたしや思ふね。それが今に、東屋の桝吉に男があると評判が廣まつて了つたら、一體どうなるとお思ひだい？それを思やこそ……！』

『待つてくんなさい！』桝吉も昂奮してゐた。『餘りな事を言ふぢやありませんか桝吉は色は賣りません。』

『藝を賣るとお言ひかい。立派な臺詞だよ。越前福井の飾屋の娘時代から、大枚の金をかけて仕込んでやつた藝事の自慢を、仕込んでやつた親が聞かされ、威張られてゐりやあ世話はないさ。結構な大見得だよ。そりやあ何かい、故人の型にでもあるのかい』

およしは又冷たく笑つて

『だけど困つたもんさ、文明開化の當節ぢやあ、藝だけで藝者を贔屓にするやうな、殊勝なお客はないやうだからね』

『えお母さん！』

流石に桝吉も憤然と立上つて了つてゐた

『默つて聞いてゐりやあ、餘り言ひたい放題の事ばかり言ふぢやあありませんか。それぢや義理も人情もありやしない。もう顧みやあしません』。親の前で言たくはありませんが、氣まぐれな浮氣の對手ぢやないんですからね。ねゝ。東屋の桝吉が、二世を盟つた一人の男、それだけは知つておいて呉んなさいまし。あたしやもう何にも言ひたくなくなつた……』

それだけ言ふと、危く轉びさうになつた身體をやつと支へて、ふら／＼と梯子段の下まで歩いて行つた

およしは、ぢツとその背姿を、睨んでゐた

不二タクシー
電話三二番

廣告

日本の家庭藥必備
トフメル
皮膚に 外傷に 化膿に
平町田町
阿部藥舖

御座います。
毎度有難う

洋食 喫茶 宴會
コンパル
平町電話666

天下一品マヅイ素人料理
おでん 榮ちゃん
酒にやき鳥 冷ビールにサイダー
平・新田町・電三三番

前田醫院
院長 前田清榮
植田町電話一二四

美味デ滋養豊富ナ にんべんノ
新鰹魚節ガ 出來マシタ。
宍戸屋商店
平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

日華生命保險株式會社代理店
外務社員募集
（委細面談）

難波醫院
內科 小兒科
入院應需 自炊の便あり
平町大町 電話五〇二番
（看護婦見習、看護婦募集）
醫學博士 難波睦

外科一般 內臟外科 レントゲン科
北川外科
平町新川町（諸橋醫院跡）
醫學博士 北川芳夫
小林良次
（血液檢査毎日）
イツデモ入院デキマス。
電話四六四番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取換・錘修・糸復致シマス
開內藥局
電話四〇番

御禮
生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。就ては御禮として毎土曜日を黑ビールデーとして御奉仕いたします。
平會館
電六二四

藥品百貨
西村屋藥舖
福島縣平町二丁目
藥劑士 鈴木堅助
電話三番
振替 東京六・二九九 仙臺一・二〇一

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

石炭 一〇〇%サーヴヰス
時節柄ダンゼン値下げ！
一等塊 正味五十斤入一俵 金一拾八錢
特塊 同 同 金一三拾五錢
品質が優良 目方が正確 デナケレバ（値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス）
此の點は當店を絶對に御信用願ひます。
▲市內は一俵より迅速に配達致シマス。
石炭 コークス 豆炭
電話三七番
ツ 阿部石炭商店

返應即座、即時乞御試
オレンヂパスタ
神經痛、リウマチス、咽喉痛、筋肉痛、肩のコリ、
福島縣平町字新町二十二番地
桑原柔道整骨院
電話六七四番

糸イラズ
此の間マネキンの實演を御覧になつて大体は皆樣糸イラズの便利經濟なる事がおわかりになりましたでせう、御用の御方は左記販賣店にありますから何卒御便宜の所で御求め下さい。
糸イラズ代理店 藥の相談所
平町古鍛冶町縣社の下
阿康藥局
電話四四番 振替口座東京三〇〇六五
平町田町 阿部藥舖
平町一丁目 水野藥局
平町鎌田町 武子商店
好間村稻荷下 阿康藥局支店
平町材木町 鈴木商店
平町新川町 清水藥舖
平町仲間町 佐藤商店
好間村元山 滿壽屋
（品切れの際は電話四四番へ）

公社債株式現物賣買
照山株式平支店
主任 常盤光威
福島縣平町田町五
振替東京八八一六三番
電話四十六番

小店員募集（十五、六才）
委細面談

月曜論壇

郡下町村に望む

國家内外の非常時局が彌々倍々多角的ならんとして國民のより緊張を必要とする一層痛切なるものあるは今や各方面の情勢消息に對して一種の概念を有する大衆の常識として内面的に不斷の惹起を惹つて居る。過般本縣臨時縣會に於て縣勢振興上重要なる諸事項に就き審議する處あつたのも之れ偏に國運伸展の基調をなす地方福利を增進充實するの意圖に出でたものとして時節柄寔に背綮すべき事である。而も更に政、民兩黨が斯うした場合有り勝ちな黨同伐異の黨派的偏見を捨て心から提携戮協の下に縣下各地方に於ける交通、產業、教育其他各般に亘り、充分なる調查研究を重ね、具体的計劃を樹立して縣當局に進言し、以てその實行を迫る爲之が材料を蒐集し來月下旬政友會福島縣支部に於て同黨所屬縣會議員始め幹部會合の上愼重調査する事となり、最近石城政友部會から町村役場、町村會議員、區長、村農會等に對し各項目を列記してその現施設に對する刷新改善の希望を徴しつつあるは、最も事實に即した計劃で、彼の政黨の大風呂敷なるものが常に不渡小切手的の政策氾濫、終始する場合多い今日之の方面に於ける近來出色の事業として衷心之を贊し成果のより多からん事を期待して措かない。而して該計劃たるや之が照會に接したる側では地方の福祉開拓上所謂溺るるものゝ心理から滿幅の希望を回答し來るであらうが、今回の事業そのものが最初から政民の共同作戰を主眼として眼中何等羊頭狗肉的の政黨的野望無きものである以上各町村に於ては此際須く敢然として眞摯の希望を申出で最大限の滿足を獲得する樣にせねばならない、蓋し斯くする事が畢竟吾人が其の總意を反映する政黨に共鳴し之を足掛りに公明なる立憲政治を顯現する所以であり玆に政黨と大衆との遺憾無き接近が行はるるからである

輝く「和魂」 強い非常時意識に 一觸即發の英氣を養ふ
昨日鄉軍武術大會の壯觀

在鄉軍人會郡聯合分會第九回武術大會は昨二日平商業學校、同第二校、東部（神谷村）射擊場の三ケ所に於て開催したが成績次の如く各選手の祕術悉くしての競技に非常時を强調し頗る盛會であつた

（團体）銃劍術 軍刀術 射擊 一分會選手各六名
1古河（優勝旗）2磐炭（支部長優勝杯）3大野（聯合分會優勝杯）4夏井 5好間 6平 7草野 8飯野 9勿來鑛山

（個人）○印は縣支部大會代表選手權獲得

○射擊 1磐城炭鑛○須田政夫 2平窪村○國府田忠男 3古河炭鑛若松正尙 4湯本大津北男 5入山炭鑛生田目粂次郎 6小名濱役田義次 7大野鈴木虎之助 8同高木男平 9磐崎佐久間覺 10玉川山野邊淸 11高久國井康 12好間木田彌之助 13飯野小野正雄 14磐城炭鑛鈴木勇 15小川鈴木豐一

○銃劍術 1好間○金成進安 2小名濱○鈴木七郎 3神谷林伊平 4川部蛭田一 5大野吉田粂一郎 6玉川大和田茂 7磐炭菅島平八郎 8夏井小林勝太郎 9入山炭鑛木野義雄 10古河炭鑛遠藤恒政 11平大竹德藏 12磐炭野澤正男 13夏井矢ゆ喜義 14古河炭鑛箱崎政義 15玉川新妻三好 16上遠野上遠野好行

○軍刀術 1古河炭鑛○加藤幸一 2夏井大友能一 3古河後藤五郎 4大野根本名治 5平齋藤義藏 6磐城炭礦圓谷兼廣 7平三森義重 8好間小林義男

東北振興促進協議
本縣代表の滯京活躍

東北地方振興を目標として六縣の縣會、縣農會、耕地協會、組合、聯合會等各團体を綜合結成された東北振興聯盟では各省の明年度豫算編成決定が目睫に迫つたので昨二日より五日まで四日間臨時委員會を開催することゝなり既に各縣正副議長を初め參與會員縣會書記長等はそれぐ上京待機中であつたが、二日午前十時より東京丸の內會館において六縣正副議長會議を開催、目下各省において編成中の明年度東北振興豫算案の全面的實現を促進すべく猛運動を起すこととなり、その第一回打合會が行はれた本縣からは釘本議長が欠席して小松副議長、オヴザーバーとして菅野善右衞門、鈴木辰三郎兩代議士が出席した

磐中水の覇王 出仙
關東北々海道大會へ

磐中水泳部では明後五、六の兩日仙台二高プールで開かれる同校尚志會水泳部主催の關東北々海道中等校水上競技大會に出場のため明四日午前八時廿分平驛發列車で渡邊部長引率出發するメンバーは左の如し

△自由型―鈴木龍一 先崎正 佐川一定 大平芳人 佐藤久三郎 菅野正雄 △背泳―坂本貴順 △菱沼三郎 北野正明 △平泳―末永勝 △二百繼泳―大平 佐藤 菅野 北野 △八百繼泳―先崎 大平 佐藤 菅野 △三百ミドレ繼泳―佐藤 北野 末永

好間尋高同窓會 來る十五日午前十時から總會を開

道路網豫定線成る
平町の都市計劃進む

平町の都市計劃は目下眞野技師が主任となり着々計劃を進めて居るが道路網豫定線も愈よ纏つたので明四日午前九時から福島地方委員會富安技師を招いてこれが委員會を開き種々今後の計劃等に就いても協議する事となつた

延約一萬人
ラヂオ体操會盛ん

平町ラヂオ体操の會第二、三日の出席人員は

△二日（第一校）第一兒童七〇七 第二同上八一八 一般二〇九 計一、七三四（第三校）第三兒童一、〇三六 一般五八〇 計一、六一六 總計三、三五〇

△三日（第一校）第一兒童五〇七 第二同上六七五 一般一八六 計一、三六八（第三校）第三兒童九二七 一般四〇〇 計一、三二七 總計二、六九一

で延人員九千四百八十六名前年同期に比し約千三百名の減である

磐中覇圖空しく
强剛山形中に敗る
東北豫選野球戰績

中等野球東北豫選第一日磐中對山形中學戰は一昨一日午後二時四十分から磐中先攻で開始、七A對六で磐中惜敗した

磐	0	0	0	2	0	0	1	3	0	6
山	2	2	1	0	0	2	0	0	A	7A

政府米拂下
山田、四倉に

町村の飯米難を救ふため政府米の特別拂下げが決定されたが、郡下では山田村三〇〇俵 四倉六〇〇俵である、一俵十二圓八錢

上遠野の縣營砂防工事
工費約九萬圓で

上遠野村大字深山田地內縣營砂防工事は工費九萬圓を投じ十一、十二ヶ年繼續のもとに平土木監督所で近く着工する事となり工事主任には今回の異動で富岡から來任の先崎技手が當る

平均八錢高
俵米共販値

石城販聯の俵米定期共販は一日午後から行はれたが出荷五百四十一俵、相場左の如く最高大野の十二圓五十四錢で前回に比し平均八錢の高値を示した

平一二、四〇錢 磐崎一二、三八 神谷一二、四 ○同二號一二、三八 大野一二、五四 錦一二、二八 草野信用一二、三八 同農會一二、三五 平窪一二、三八

植田軟式野球 植田町スポーツ協會主催の第四回常磐軟式野球大會は八、九の兩日植田小學校庭で開催

更生の第一歩として
全村に實行委員會設立
指定村草野の意氣込み

計劃の不備から指定が一ヶ年遲れた經濟更生村草野村ではこの不面目を拭ふべく過般來眞摯な態度で計劃を進めて居るが、先づこれが更生の第一步として全村部落に『經濟更生實行委員會』を計劃、早くも水品に三組合、北神谷に四組合結成され馬目部落でも昨二日同村寺院でこれが結成協議會を開き決定した

町內三方部に分けて 愈よあす結團式擧行
平町防空陣確立

我等の鄉土は我等で護れ……と平町では既報の如く今秋九月行はれる防空演習を前に過般來再三に亘つてこれが細則其他の協議を進めてゐたが、昨二日更に委員會を開いた結果（東部）團長大間喜繁 副團長岡田健吉（西部）團長青天目源一郎 副團長石坂一雄（北部）團長鈴木良平 副團長鈴木友光の外各種別の班長を左の如く決定、愈よ明四日夜七時から町會議事堂でこれが結團式を擧行する事となつた

東部＝（警護）薬谷喜太郎（警報）瀧口豐（防火）坂本爲一（交通整理）猪狩正成（避難管理）小泉五郎（工作）古川信治（防護）大原寅雄（救護）荒井常信（配給）渡邊儀四郎

西部＝（警護）阿部傳六（警報）山崎忠兵衞（防火）海老原章四郎（交通整理）鈴木義忠（避難管理）草野央（工作）吉田彥太郎（防護）中野勇雄（救護）比佐三郎（配給）植頭憲太郎

北部＝（警護）古川一二（警報）久野金二（防火）小室耕（避難管理）本條耕英（工作）古田部義雄（防護）大山庄松（救護）矢野庄吉（配給）鈴木菊松

映畫で宣傳
防空陣

八日の成つた平町では來る八日夜役場構內で防空演習に因んだ映畫を一般に公開する尙雨天の際は聚樂館で開く

芋の子を洗ふ樣な 各濱昨日の賑ひ
海水浴氣分最高潮に達す

海水浴の八月に第一の日曜搗て〻名刹久の濱波立藥師の例祭日である。朝來初秋の如く冷涼の氣に海水浴日和としては申し分あるが、早くから之日を待望した人の群は濱へ海へと繰り出し汽車、汽動車、自動車の悉くが其等の足となつて海の大衆を次々と運ぶ、おかげで各濱の脫衣場は何所も超滿員の繁昌振りを見せ、水の中に砂濱にゴマ粒をぶち撒いた樣な人魚の群は午後の驟雨にゴッタ返しの混雜を見せ之等引揚げを急ぐ人達で乘物と云ふ乘物は何れも鈴なりの有樣であつた、各濱共に人出無慮數萬と註せられた

海上に死体
小名濱

町漁船第三新榮丸（船長小池豐茂氏）が昨二日午後一時頃同町四十浬沖合に出漁中白骨死体を發見した、平署で檢死した結果江名町漁船長勢丸の遭難漁夫らしい

乘降平日の約七倍
昨二日の平驛

平驛の乘降人員は平日の千百名內外に對し

（乘）三、五〇三
（降）三、七六一

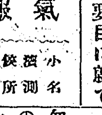
計七千二百六十四名（七倍弱）その賃銀千四百五十一圓は平日の八百圓に比し近距離の關係から比較的少いが人員は昭和二年以降なく十年來のヒットであつたと

冥土の土產にもう一度
五十三の料理屋女將が
飛行機同乘体驗談

錦村大倉海岸の飛行機曲技及びパラシュート大會は一昨一日午前八時より決行したが鳥人日野氏によつて行はるる機上の妙技に接せんと早朝來の人出無慮一萬三、四千名と註せられ附近一帶曾てなき大混雜を來した曲技パラシュートに武田喜久子孃が鮮かな處を見せ日野俊雄氏の翼上起立の放れ業と共に觀衆をして手に汗を握らしめた、斯くして盛會裡に終了したが昨二日同乘した飛り種植田町料理店『まつば』の女將酒井ヨノ（五三）さんは大きなからだを搖すぶつて『地上の人を眼下に見下した氣持ちだけでも大いしたもんです、モツ一回冥土の土產に乘つて見たいもんです』と語つた

郡女教員遊戲講習
出席二百名の盛況

郡女教員會の遊戲講習會は昨二日午前八時から平第二小學校で開かれ東京府立六女教諭鈴木タケ女史により荒城の月、繪日傘、海、兵隊さん、日の丸等童謠の新舞踊及び新体操要目に就て指導あり、參會の郡下女教員その他二百名は汗と鬪つての稽古を續け今三日午後四時迄で終了した



天氣豫報　小名濱測候所觀測

今晩は北東の風曇小雨
明日は北の風曇

只乘り日本一周
上遠野村の熊谷健三
今度は熱海で妙技?

只乘り少年、上遠野村今松三男熊谷健三（一四）假名―が今度は靜岡縣下で得意の妙技?をやらかしふんづかまつた――一日午後四時頃靜岡縣田方郡多賀村街路で埼玉ナンバーの自動車の後部にしがみつき砂塵を浴びて土塊のやうになつてゐる處を熱海署に取押へられたが健三は九歲くらゐの頃から最短距離の切符を求めては汽車の只乘をするに妙を得散々兩親を手古摺らせた上去る六月卅日同樣手段で上京、汽車や電車を乘廻し七月廿日下谷區坂本警察署前で子供用の自轉車を搔拂ひ自動車に掴まつて走つてゐる中はね飛ばされて築地署に取押へられ廿九日少年審判所から葛飾區金町學園送りとなつたが、翌卅日逃走、一日早朝秋葉原有樂町間の切符で房總線で千葉に行き、引返して今度は東海道線で伊豆網代驛に下車伊東行自動車の後部緩衝器に飛付いて伊東に行き海水浴までして前記埼玉ナンバーの自動車に飛付いて熱海に引返す途中取押へられたもの

『母は繼母で虐めるので俺もいふことをきかないよ、父はこんな子を持つて千兩の借金をしたよりも辛いとこぼしてゐるよ、俺は下關まで行つて山陰線を通つて日本を一周するつもりだつた』と最短距離の切符で汽車の只乘をする巧妙な方法を說明して警官を啞然たらしめた

釣瓶繩から
勿來のチフス原因

勿來町のチフスは依然終熄の模樣なく今日迄の發生二十三名中五名全快、今三日更に中田常陽銀行支店長二女レイさんが新患として隔離された、原因は役場前共同井の釣瓶繩かららしいと

植田支局通信

。。。。箇閱點呼豫習 來る十七日海軍、廿日陸軍の箇閱點呼を植田町小學校に於て執行するので來る十五日午前八時より同校に於て關係者の健康豫習を行ふ筈

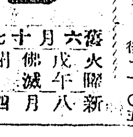
植田驛舍改築陳情 植田驛は既報の如く昭和人絹會社の設立によつて乘降客が急激に增加し現在では一日平均千三百名と云ふ從來の約二倍半にも上り待合室の如きも僅か九坪に過ぎぬので關係筋では近くガソリンカー延長と共にこれが擴張新築方を主務省に陳情する事となつた

。。小濱漁組總會 去る卅一日午前九時臨時總會を開催專用漁業權變更願に關する件を協議した

小濱の採鮑本格に入る 潮流その他の關係で本格的採取期に至らなかつた小濱の鮑は三四日前より愈々本格的となり植田驛より每日百貫位の發送をなしつゝあるが値段は依然水揚三十割當

四日（小名濱測候所發表）

日出 四、四七　月出 後七、〇八
日沒 六、三九　月沒 前五、四一
滿潮 前三、四〇 後五、二五　干潮 前一一、〇〇 後一一、〇五



舊六月十七日 火曜 戊午 佛滅 開 室宿 新八月四日

九星判斷　東京市本鄉區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 短氣は損氣と知れ萬事自重するが肝要なり ▲二黑 上々の氣運にて百事進んで功あり急進せよ ▲三碧 急がず歩みを運ぶべし ▲四綠 大發展を遂ぐる日起業開店婚談等何れも吉 ▲五黃 堅實に萬事を謀れば進展力益々加はる吉日 ▲六白 終始實き難き不良の日分限に安ずる外無し ▲七赤 心愈くのみにて何事も捗り難く澁滯多し ▲八白 心氣朗らかにして爲す事意の如く行はる日 ▲九紫 先き走る時は思はぬふちに陷る愼む可らず

七夕祭飾附材料 ◎◎◎◎◎◎◎

飾玉提灯。大小判色紙。吹流用ワク大・中・小。虫玉。テープ各種。ラツモール藥玉（四寸ヨリ二寸マデ）パラピン製折紙。藥玉用カゴ（尺ヨリ三尺マデ）

其他御注文ニ應ジ如何樣ノ形ニテモ出來マス。

敎育玩具雜貨問屋　平町一丁目　森下商店　商號 豆屋

新盆の戒名入提灯

例年の通り御安く御注文に應じます。

弊店の提灯が……體裁が良くて値段の最も安い事は自分で一切の製造仕上げをする事と場所が不便の爲で有ります。

平町才槌小路　金子提灯店